

福井県感染症発生動向調査速報

<<令和2年>>

<週報> 第27週 (令和2年6月29日～7月5日)

発行日: 令和2年7月8日

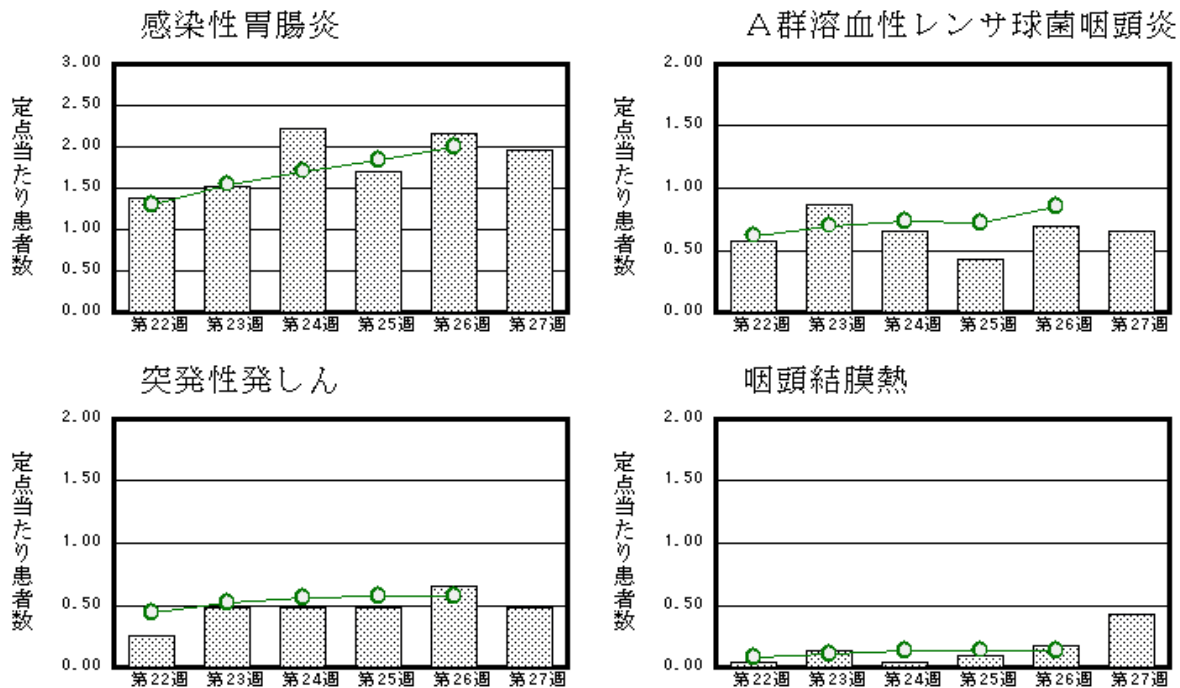
発行: 福井県健康福祉部保健予防課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】①感染性胃腸炎45名(1.96名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎15名(0.65名) ③突発性発しん11名(0.48名) ④咽頭結膜熱10名(0.43名) ⑤細菌性髄膜炎1名(0.17名)
()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(45名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(15名) ③突発性発しん(11名) ④咽頭結膜熱(10名) ⑤細菌性髄膜炎(1名)、ヘルパンギーナ(1名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は45名です。定点当たり報告数は減少しました(2.17名→1.96名)。地域別にみると、二州地区3.33名、福井市地区2.86名、丹南地区1.60名、若狭地区1.50名、坂井地区1.00名、奥越地区0.50名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は15名です。定点当たり報告数は減少しました(0.70名→0.65名)。地域別にみると、若狭地区1.50名、丹南地区1.00名、福井市地区0.57名、奥越地区0.50名、坂井地区0.33名、二州地区0.33名の順となっています。
- 【突発性発しん】報告数は11名です。定点当たり報告数は減少しました(0.65名→0.48名)。地域別にみると、若狭地区1.50名、丹南地区1.00名、二州地区0.67名、福井市地区0.14名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は10名です。定点当たり報告数は増加しました(0.17名→0.43名)。地域別にみると、若狭地区2.00名、奥越地区0.50名、丹南地区0.40名、坂井地区0.33名、二州地区0.33名、福井市地区0.14名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2020年第25週号(6月15日～6月21日)

発生動向総覧	<第25週>咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第22週以降増加が続いている
注目すべき感染症	<新型コロナウイルス感染症(COVID-19)>厚生労働省からの報道発表によると、国内では6月24日24時現在、新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者は18,110例、うち死亡者968例と報告されている
感染症関連情報	◆病原体情報 病原微生物検出情報(IASR) ◆海外感染症情報 厚生労働省検疫所(FORTH) ◆その他 新型コロナウイルス感染症関連情報について/ 風疹に関する疫学情報(2020年6月24日現在)
速報	<今週は該当記事はありません>

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核（丹南1名、若狭1名）の報告がありました。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症（福井市2名）の報告がありました。
（なお、腸管出血性大腸菌感染症は第26週に若狭1名の報告がありました。）
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症全数把握対象：報告はありませんでした。
（なお、梅毒は第26週に福井市1名の報告がありました。）

類型	病名	年齢						
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上
2類	結核							2
3類	腸管出血性大腸菌感染症			1				1

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 令和2年 第27週 令和2年6月29日(月)～令和2年7月5日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(26週)
小児科 (23)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)										9 0.00
	RSウイルス感染症										17 0.01
	咽頭結膜熱	1 0.14		1 0.33	1 0.50	2 0.40	1 0.33	4 2.00	10 0.43	4 0.17	423 0.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.57		1 0.33	1 0.50	5 1.00	1 0.33	3 1.50	15 0.65	16 0.70	2687 0.85
	感染性胃腸炎	20 2.86		3 1.00	1 0.50	8 1.60	10 3.33	3 1.50	45 1.96	50 2.17	6333 2.00
	水痘									2 0.09	241 0.08
	手足口病									4 0.17	333 0.11
	伝染性紅斑										53 0.02
	突発性発しん	1 0.14				5 1.00	2 0.67	3 1.50	11 0.48	15 0.65	1794 0.57
	ヘルパンギーナ			1 0.33					1 0.04	2 0.09	450 0.14
流行性耳下腺炎									1 0.04	196 0.06	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*		*	*			5 0.01
	流行性角結膜炎										135 0.19
基幹 (6)	細菌性髄膜炎							1 1.00	1 0.17		14 0.03
	無菌性髄膜炎										9 0.02
	マイコプラズマ肺炎									1 0.17	23 0.05
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		*	*							1 0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										3 0.01
	インフルエンザ(入院患者数)										

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

*欄には定点はありません

細字は定点当たり患者数

※1は、2019/2020シーズンの全国の集計は第14週で終了いたしました。

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和2年第27週 令和2年6月29日(月)～令和2年7月5日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルペ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性胃 腸炎(ロタ ウイルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月											～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月		1		1				1			～11ヶ月									
1歳		1歳		6		5				8			1歳									
2歳		2歳		1	1	6				2	1		2歳									
3歳		3歳			3	3							3歳									
4歳		4歳			2	4							4歳									
5歳		5歳		1	2	2							5歳									
6歳		6歳			2	2							6歳									
7歳		7歳			1	2							7歳									
8歳		8歳			2	3							8歳									
9歳		9歳			1	3							9歳									
10～14歳		10～14歳			1	11							10～14歳									
15～19歳		15～19歳				1							15～19歳									
20～29歳		20歳以上		1		2							20～29歳			1						
30～39歳													30～39歳									
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳									
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合計		合計		10	15	45				11	1		合計			1						
前期計		前期計		4	16	50	2	4		15	2	1	前期計					1				
当期間/前期	***	当期間/前期	***	2.5	0.94	0.9			***	0.73	0.5		当期間/前期	***	***	***	***		***	***		
増減数		増減数		6	-1	-5	-2	-4		-4	-1	-1	増減数			1		-1				

***は前期計が"0"のとき